

東北工業大学教育職員免許状の取得に関する履修規程

第1条 学則第42条の規定に基づく教育職員免許状の取得に要する授業科目の履修に関しては、この規程の定めるところによる。

第2条 本学で取得できる免許状の種類及び免許教科は学則第42条に定めるとおりであるが、その修得に関する授業科目及び単位については次のとおりである。

令和4年度入学生から適用

全学部 教育の基礎的理解に関する科目等及びその他の関連科目

「工業」・「情報」・「商業」の免許状取得に必要な科目

区 分	授 業 科 目	単 位 必修:選択	各期の毎週授業時間数							
			1 年		2 年		3 年		4 年	
			前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
教育の基礎的理解に関する科目	教職概論	2	2							
	教育心理学	2	2							
	教育制度論	2		2						
	特別支援教育	1		1						
	教育課程論	2			2					
	教育原理	2			2					
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談に関する科目	生徒・進路指導論	2			2					
	特別活動及び総合的な探究の時間の指導法	2				2				
	教育相談	2				2				
	教育方法学 *1	2				2				
教育実践に関する科目	教育実習	2							6	
	教育実習事前・事後指導 *2	1							2	
	教職実践演習（高）	2								2
その他の関連科目	日本国憲法	2						2		
	健康・運動科学実習Ⅰ	1	2							
	健康・運動科学実習Ⅱ	1		2						
	英語ⅠA	1	2							
	英語ⅠB	1		2						
	プログラミングⅠ（電気電子）	2	2							
	プログラミング入門（情報通信）	3	4							
	CE コンピュータ基礎（都市マネジメント）	1	2							
	CE-CAD（都市マネジメント）	1		2						
	情報リテラシー（環境応用化学）	2	2							
	建築CAD（建築）	2		2						
	ネットワーク・コンピュータ基礎Ⅰ（ライフデザイン学部）	2	2							

*1 令和5年度より「教育の方法及び技術（情報通信技術の活用含む）」へ変更予定。

*2 教育実習事前・事後指導は、3年後期から4年にかけて実施する。

*3 の科目については当該学科の科目を2単位以上修得のこと。

教科及び教科の指導法に関する科目のうち、各教科の指導法

「工業」・「情報」・「商業」の免許状取得に必要な科目

区 分	授 業 科 目	単 位 必修:選択	各期の毎週授業時間数							
			1 年		2 年		3 年		4 年	
			前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）	工業科教育法A（「工業」免許必修）	2					2			
	工業科教育法B（「工業」免許必修）	2						2		
	情報科教育法A（「情報」免許必修）	2					2			
	情報科教育法B（「情報」免許必修）	2						2		
	商業科教育法A（「商業」免許必修）	2					2			
	商業科教育法B（「商業」免許必修）	2						2		

工学部 電気電子工学科

教科及び教科の指導法に関する科目

「工業」の免許状取得に必要な科目及び教職課程履修者の単位数 ※下線科目：一般的包括的科目

施行規則に定める 科目区分等		左記に対応する開設授業科目		備 考	施行規則に定める 科目区分等		左記に対応する開設授業科目		備 考
科目 区分	各科目に 含めることが 必要な事項	授 業 科 目	単位数 必修 選択		科目 区分	各科目に 含めることが 必要な事項	授 業 科 目	単位数 必修 選択	
教科及び教科の指導法に関する科目	工業の 関係科目	工業概論 *	2		教科及び教科の指導法に関する科目	各教科の指導法 (情報通信技術の 活用を含む。)	工業科教育法A	2	
		電気回路Ⅰ及び同演習	3				工業科教育法B	2	
		電気回路Ⅱ及び同演習	3						
		電磁気学Ⅰ	2						
		電気回路Ⅲ	2						
		電磁気学Ⅱ	2						
		固体電子工学Ⅰ	2						
		電気電子計測	2						
		電子回路Ⅰ	2						
		電気電子工学実験Ⅱ	3						
		電気回路Ⅳ	2						
		固体電子工学Ⅱ	2						
		電子回路Ⅱ	2						
		電力工学概論	2						
		電気機械工学	2						
		電気電子材料	2						
		バイオ・光エレクトロニクス	2						
		電気法規	2						
	職業指導	職業指導（工業） *	2		「職業指導」「工業科教育法A・B」を含め、36単位以上修得のこと				

注意：*の科目は学科では選択科目ですが、「工業」の免許状取得希望者は必修科目です。

「情報」の免許状取得に必要な科目及び教職課程履修者の単位数 ※下線科目：一般的包括的科目

施行規則に定める 科目区分等		左記に対応する開設授業科目		備 考	施行規則に定める 科目区分等		左記に対応する開設授業科目		備 考			
科目 区分	各科目に 含めることが 必要な事項	授 業 科 目	単位数 必修 選択		科目 区分	各科目に 含めることが 必要な事項	授 業 科 目	単位数 必修 選択				
教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	情報社会・ 情報倫理	情報社会とモラル *	2	いずれか1科目 選択必修	教科及び教科の指導法に関する科目	情報通信 ネットワーク (実習を含む。)	コンピュータネットワーク *	2			
			コンピュータアーキテクチャⅢ A	2				電気電子工学実験Ⅲ	3			
			コンピュータアーキテクチャⅢ B	2								
		コンピュータ・ 情報処理 (実習を含む。)	ディジタル回路	2	いずれか1科目 選択必修		マルチメディア 表現・ マルチメディア 技術 (実習を含む。)	マルチメディアシステム *	2			
			プログラミングⅠ	2				アルゴリズム基礎			2	
			プログラミングⅡ	2				数値計算法			2	
			コンピュータアーキテクチャⅡ A	2				CAD 製図			1	
			コンピュータアーキテクチャⅡ B	2								
		情報システム (実習を含む。)	電気電子工学実験Ⅰ	3			情報と職業	情報と職業 *	2			
			センサ工学	2				産業社会と倫理			2	
			制御工学	2			各教科の指導法 (情報通信技術の 活用を含む。)					
			ロボティクス	2				情報科教育法 A	2			
								情報科教育法 B	2			
						「情報科教育法 A・B」を含め、36 単位以上修得のこと						

注意：*の科目は学科では選択科目ですが、「情報」の免許状取得希望者は必修科目です。

工学部 情報通信工学科

教科及び教科の指導法に関する科目

「工業」の免許状取得に必要な科目及び教職課程履修者の単位数 ※下線科目：一般的包括的科目

施行規則に定める 科目区分等		左記に対応する開設授業科目			備 考	施行規則に定める 科目区分等		左記に対応する開設授業科目			備 考
科目 区分	各科目に 含めることが 必要な事項	授 業 科 目	単位数 必修 選択			科目 区分	各科目に 含めることが 必要な事項	授 業 科 目	単位数 必修 選択		
教科及び教科の指導法に関する科目	工業の 関係科目	工業概論 *	2		教科及び教科の指導法に関する科目 選択科目のうち いずれか4単位 選択必修	各教科の指導法 (情報通信技術の 活用を含む。)	工業科教育法A	2			
		情報リテラシーⅠ	1				工業科教育法B	2			
		電気回路入門	2								
		電気数学		2							
		電磁気学Ⅰ		2							
		情報通信工学実験Ⅰ	3								
		電気回路Ⅱ及び同演習		3							
		電磁気学Ⅱ		2							
		情報通信工学実験Ⅱ	3								
		電子回路Ⅰ及び同演習	3								
		通信システムⅠ		2							
		半導体デバイス		2							
		電子回路Ⅱ		2							
		音響工学		2							
		光通信工学		2							
		職業指導	職業指導（工業） *	2					「職業指導」「工業科教育法A・B」を含め、36単位以上修得のこと		

注意：*の科目は学科では選択科目ですが、「工業」の免許状取得希望者は必修科目です。

「情報」の免許状取得に必要な科目及び教職課程履修者の単位数 ※下線科目：一般的包括的科目

施行規則に定める 科目区分等		左記に対応する開設授業科目		備 考	施行規則に定める 科目区分等		左記に対応する開設授業科目		備 考		
科目 区分	各科目に 含めることが 必要な事項	授 業 科 目	単位数 必修 選択		科目 区分	各科目に 含めることが 必要な事項	授 業 科 目	単位数 必修 選択			
教科及び教科の指導法に関する科目	情報社会 ・ 情報倫理	情報社会とモラル *	2		教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的 事項	コンピュータネットワークⅠ	2			
							情報通信ネットワーク (実習を含む。)	2			
							通信システムⅡ	2			
	コンピュータ ・ 情報処理 (実習を含む。)	情報工学入門	2				情報通信工学実験Ⅲ	3			
		論理回路	2								
		アルゴリズムとデータ構造及び同演習	3				マルチメディア表現 ・ マルチメディア技術 (実習を含む。)	2			
		計算機工学Ⅰ	2				アプリケーション開発	2			
		組込みシステム設計	2				コンピュータ数値解析	2			
		計算機工学Ⅱ	2								
		ソフトウェア設計	2				情報と職業 *	2			
							産業社会と倫理	2			
	情報システム (実習を含む。)	情報リテラシーⅡ	2								
		データベース *	2								
		情報理論	2				情報科教育法A	2			
							情報科教育法B	2			
					「情報科教育法A・B」を含め、36単位以上修得のこと						

注意：*の科目は学科では選択科目ですが、「情報」の免許状取得希望者は必修科目です。

工学部 都市マネジメント学科
教科及び教科の指導法に関する科目

「工業」の免許状取得に必要な科目及び教職課程履修者の単位数 ※下線科目：一般的包括的科目

施行規則に定める 科目区分等		左記に対応する開設授業科目			備 考	施行規則に定める 科目区分等		左記に対応する開設授業科目			備 考
科目 区分	各科目に 含めることが 必要な事項	授 業 科 目	単位数	必修 選択		科目 区分	各科目に 含めることが 必要な事項	授 業 科 目	単位数	必修 選択	
教科及び教科の指導法に関する科目	工業の 関係科目	工業概論 *	2		教科及び教科の指導法に関する科目	各教科の指導法 (情報通信技術の 活用を含む。)	工業科教育法A	2			
		空間測量Ⅰ	2				工業科教育法B	2			
		空間測量実習	2								
		環境・防災工学	2								
		コンクリート	2								
		構造力学基礎Ⅰ	2								
		鉄筋コンクリートⅠ	2								
		水理学基礎Ⅰ	2								
		基礎地盤工学	2								
		水理学基礎Ⅱ	2								
		鉄筋コンクリートⅡ		2							
		応用地盤工学		2							
		数理的計画論		2							
		都市計画		2							
		C E実験Ⅰ	2								
		交通計画		2							
		社会基盤マネジメント	2								
		空間測量Ⅱ	2								
	職業指導	職業指導 (工業) *	2			「職業指導」「工業科教育法A・B」を含め、36単位以上修得のこと					

注意：*の科目は学科では選択科目ですが、「工業」の免許状取得希望者は必修科目です。

工学部 環境応用化学科

教科及び教科の指導法に関する科目

「工業」の免許状取得に必要な科目及び教職課程履修者の単位数 ※下線科目：一般的包括的科目

施行規則に定める 科目区分等		左記に対応する開設授業科目			備 考	施行規則に定める 科目区分等		左記に対応する開設授業科目			備 考				
科目 区分	各科目に 含めることが 必要な事項	授 業 科 目	単位数 必修 選択			科目 区分	各科目に 含めることが 必要な事項	授 業 科 目	単位数 必修 選択						
教科及び教科の指導法に関する科目	工業の 関係科目	工業概論 *	2		選択科目のうち いずれか4単位 選択必修	教科及び教科の指導法に関する科目	各教科の指導法 (情報通信技術の 活用を含む。)	工業科教育法A	2						
		物理化学Ⅰ	2					工業科教育法B	2						
		有機化学	2												
		分析化学Ⅰ	2												
		化学工学	2												
		無機化学	2												
		分析化学Ⅱ	2												
		循環型社会形成論		2											
		環境マネジメント		2											
		地球環境科学基礎		2											
		大気環境工学		2											
		環境化学		2											
		表面化学		2											
		熱力学		2											
		地域環境調査法及び同演習		3											
		水環境工学		2											
		計測工学		2											
		土壌環境工学		2											
		電気化学		2											
		機能材料		2											
		緑地環境工学		2											
		資源循環とライフサイクルアセスメント		2											
			</												

注意：*の科目は学科では選択科目ですが、「工業」の免許状取得希望者は必修科目です。

建築学部 建築学科

教科及び教科の指導法に関する科目

「工業」の免許状取得に必要な科目及び教職課程履修者の単位数 ※下線科目：一般的包括的科目

施行規則に定める 科目区分等		左記に対応する開設授業科目		備 考	施行規則に定める 科目区分等		左記に対応する開設授業科目		備 考	
科目 区分	各科目に 含めることが 必要な事項	授 業 科 目	単位数 必修 選択		科目 区分	各科目に 含めることが 必要な事項	授 業 科 目	単位数 必修 選択		
教科及び教科の指導法に関する科目	工業の 関係科目	工業概論 *	2		各教科の指導法 (情報通信技術の 活用を含む。)	工業科教育法 A	2			
		建築入門	2			工業科教育法 B	2			
		建築表現	1							
		建築設計Ⅰ	2							
		建築材料Ⅰ	2							
		建築環境工学概論	2							
		建築 C A D	2							
		建築計画Ⅰ	2							
		ヨーロッパ建築史	2							
		建築材料Ⅱ	2							
		骨組の力学Ⅰ	2							
		日本建築史	2							
		建築材料実験Ⅰ	1							
		熱・空気環境	2							
		骨組の力学Ⅱ	2							
		建築計画Ⅲ	2							
		建築法規及び同演習	3							
		建築設備システム及び同演習	3							
		建築プロフェッショナル論	2							
		都市計画	2							
	職業指導	職業指導（工業） *	2		「職業指導」「工業科教育法 A ・ B 」を含め、36 単位以上修得のこと					

注意：*の科目は学科では選択科目ですが、「工業」の免許状取得希望者は必修科目です。

教科及び教科の指導法に関する科目

※下線科目：一般的包括的科目

施行規則に定める 科目区分等		左記に対応する開設授業科目			備 考	施行規則に定める 科目区分等		左記に対応する開設授業科目			備 考
科目 区分	各科目に 含めることが 必要な事項	授 業 科 目	単位数 必修 選択			科目 区分	各科目に 含めることが 必要な事項	授 業 科 目	単位数 必修 選択		
教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	工業の 関係科目	工業概論 *	2		教科及び教科の指導法に関する科目	各教科の指導法 (情報通信技術の 活用を含む。)	工業科教育法A	2		「職業指導」「工業科教育法A・B」を含め、36単位以上修得のこと
			ネットワーク・コンピュータ基礎Ⅱ	2				工業科教育法B	2		
			デザイン論Ⅰ	2							
			デザイン史	2							
			デザイン論Ⅱ	2							
			色彩論	2							
			デザイン論Ⅲ	2							
			エディトリアルデザイン論	2							
			情報デザイン論	2							
			材料学・生産技術	2							
			インタラクションデザイン論		2						
			エルゴノミクス		2						
			ユニバーサルデザイン		2						
			音と動きのデザイン		2						
			デザインマーケティング論		2						
			工芸学		2						
			職業指導	職業指導（工業） *	2						

注意：*の科目は学科では選択科目ですが、「工業」の免許状取得希望者は必修科目です。

教科及び教科の指導法に関する科目

※下線科目：一般的包括的科目

施行規則に定める 科目区分等		左記に対応する開設授業科目			備 考	施行規則に定める 科目区分等		左記に対応する開設授業科目			備 考	
科目 区分	各科目に 含めることが 必要な事項	授 業 科 目	単位数 必修 選択			科目 区分	各科目に 含めることが 必要な事項	授 業 科 目	単位数 必修 選択			
教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	工業の 関係科目	工業概論 *	2		教科及び教科の指導法に関する科目	各教科の指導法 （情報通信技術の 活用を含む。）	工業科教育法A	2			
		地域計画概論	2		工業科教育法B			2				
		地域防災論	2									
		福祉住環境		2								
		ユニバーサルデザイン	2									
		地域産業論	2									
		住まいの計画	2									
		住まいの構造と材料	2									
		住環境の基礎科学	2									
		生活学演習	2									
		地域調査演習	2									
		デザイン基礎演習	2									
		復旧復興まちづくり		2								
		NPO 論		2								
		住まいの造形意匠		2								
		インテリアデザイン		2								
		住まいの文化史		2								
		住まいの施工と積算		2								
		住まいの環境工学		2								
		地域環境の保全とエネルギー		2								
		設計CAD 演習Ⅰ		2								
		設計CDA 演習Ⅱ		2								

注意：*の科目は学科では選択科目ですが、「工業」の免許状取得希望者は必修科目です。

ライフデザイン学部 経営コミュニケーション学科

教科及び教科の指導法に関する科目

「商業」の免許状取得に必要な科目及び教職課程履修者の単位数

※下線科目：一般的包括的科目

施行規則に定める 科目区分等		左記に対応する開設授業科目		備 考	施行規則に定める 科目区分等		左記に対応する開設授業科目		備 考
科目 区分	各科目に 含めることが 必要な事項	授 業 科 目	単位数 必修 選択		科目 区分	各科目に 含めることが 必要な事項	授 業 科 目	単位数 必修 選択	
教科及び教科の指導法に関する科目	商業の 関係科目	経営学入門	2	選択科目のうち いずれか4単位 選択必修	各教科の指導法 (情報通信技術の 活用を含む。)	商業科教育法A	2		
		会計学入門	2			商業科教育法B	2		
		経済学入門	2						
		統計学入門	2						
		簿記論	2						
		経営管理論	2						
		マーケティング論	2						
		ドキュメントコミュニケーション	2						
		財務会計論	2						
		ミクロ経済学	2						
		データ分析	2						
		社会調査Ⅰ	2						
		イノベーション政策論	2						
		財務管理論	2						
		マクロ経済学	2						
		ネットワークとビジネス	2						
		ビジネスイングリッシュ	2						
		データベースと経営	2						
		ビジネスロールプレイング	2						
	職業指導	職業指導（商業） *	2		「職業指導」「商業科教育法A・B」を含め、36単位以上修得のこと				

注意：*の科目は学科では選択科目ですが、「商業」の免許状取得希望者は必修科目です。

◇科目ナンバリングについて

1. 科目ナンバリングの配列

1 段目		-	2 段目	-	3 段目
部科区分	科目区分		分野		学習進度+通し番号
F	Z	-	Z	-	201
FZ-Z-201					

※全学部「教育制度論」（1 年次後期開講）の例

2. 科目ナンバリングの凡例

1 段目	
(部科区分)	
F	工学部／建築学部／ライフデザイン学部
EACS	工学部全学科／建築学部 産業デザイン学科／生活デザイン学科
ET	電気電子工学科／情報通信工学科
MC	経営コミュニケーション学科
(科目区分)	
Z	教職科目

2 段目（分野）	
Z	教職科目

3 段目（学習進度+通し番号）	
1 0 0 番台	開講セメスター 1 クラスレベル
2 0 0 番台	開講セメスター 2 クラスレベル
3 0 0 番台	開講セメスター 3 クラスレベル
4 0 0 番台	開講セメスター 4 クラスレベル
5 0 0 番台	開講セメスター 5 クラスレベル
6 0 0 番台	開講セメスター 6 クラスレベル
7 0 0 番台	開講セメスター 7 クラスレベル
8 0 0 番台	開講セメスター 8 クラスレベル
0 0 0 番台	その他（レベル分けができない科目、例：特別課外活動）

本学では、授業科目に適切な番号を付し分類する「科目ナンバリング」を導入しています。

学部・学科ごとに授業科目の難易度に基づく学習の段階や順序を整理していますので、履修科目を選択する際などに利用してください。

3. 各科目の科目ナンバリング

科目 No.	科 目 名	各期の毎週時間数							
		1 年		2 年		3 年		4 年	
		前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
FZ-Z-101	教職概論	2							
FZ-Z-102	教育心理学	2							
FZ-Z-201	教育制度論		2						
FZ-Z-202	特別支援教育		1						
FZ-Z-301	教育課程論			2					
FZ-Z-302	教育原理			2					
FZ-Z-303	生徒・進路指導論			2					
FZ-Z-401	特別活動及び総合的な探究の時間の指導法				2				
FZ-Z-402	教育相談				2				
FZ-Z-403	教育方法学				2				
EACSZ-Z-501	工業科教育法 A					2			
ETZ-Z-502	情報科教育法 A					2			
MCZ-Z-501	商業科教育法 A					2			
EACSZ-Z-601	工業科教育法 B						2		
ETZ-Z-602	情報科教育法 B						2		
MCZ-Z-601	商業科教育法 B						2		
FZ-Z-701	教育実習							6	
FZ-Z-702	教育実習事前・事後指導							2	
FZ-Z-801	教職実践演習（高）								2

1 教職概論 FZ-Z-101

必修 2単位 1年前期



授業の概要：教職課程の意義や教員としての資質・心構えを導入とし、先輩教員の実践例などを通して、教員としての生き方を考える。次いで、現在の学校・学校教育及び教職に関する基礎的な事項について解説し、その定着を図るために数回の確認テストを行う。また、自らを振り返り、進路意識を明確にするために小レポートを課し、優れたものは共有化することによって意識の深化を図る。

授業の達成目標：

1. 今日の学校教育や教職の社会的意義を理解するとともに教職への意欲を高める。
2. 教員に求められる役割や資質能力を理解する。
3. 教員の職務内容や教員に課せられる義務を理解する。
4. チーム学校への対応の必要性について理解する。

3 教育制度論 FZ-Z-201

必修 2単位 1年後期



授業の概要：本講義は、教育に関する社会的／制度的事項とその課題について解説する。各授業では、教育制度に関する基礎的な知識や教育政策の動向について、関連資料の読解やグループワークを通して、理解を深める。その中には、現代の学校において必要不可欠な地域との連携及び学校安全への対応も含まれる。最後には、教育の動向に関するテーマを各自が設定し、それについてのレポートの作成と、授業内での発表を行う。

授業の達成目標：

1. 教育に関する社会的／制度的事項についての基礎知識を修得する。
2. 教育に関する社会的／制度的事項に関する事例を、基礎知識を基に客観的に理解する。
3. 教育に関する社会的／制度的事項の課題を見つけ、必要な対応について考える。

5 教育課程論 FZ-Z-301

必修 2単位 2年前期



授業の概要：本講義は教育課程とその編成方法について学ぶことを目的とする。各授業では、学習指導要領の位置づけやその内容、教育課程の編成の原理、カリキュラム・マネジメント等の教育課程の基礎的な知識を、関連資料の読解やグループワーク等を通して理解する。また、指導計画を立てることを通して、指導計画と教育課程の編成の仕方を修得する。

授業の達成目標：

1. 学校教育において教育課程が有する意義を理解する。
2. 教育課程編成の原理及び方法を理解する。
3. カリキュラム・マネジメントの意義を理解する。

2 教育心理学 FZ-Z-102

必修 2単位 1年前期・集中



授業の概要：発達と学習の領域を中心に、子どもたちの教育を考える上で必要となる心理学の知見を解説する。また、教育現場への応用を念頭に置きながら、具体的な教育場面と関連づけて問題を提示していく。

授業の達成目標：

1. 発達と学習に関する概念及び基礎理論を理解し、教育実践の場で応用できる力を養う。
2. 生涯発達の観点から、各段階での特徴、発達課題、発達過程に及ぼす要因、認知発達等の具体的内容について理解する。
3. 主体的学習、学習意欲、学習評価のあり方について、発達を踏まえた学習を支える指導の基礎となる考え方を理解する。

4 特別支援教育 FZ-Z-202

必修 1単位 1年後期・集中



授業の概要：我が国におけるインクルーシブ教育システムと様々な教育的ニーズのある生徒を支援する方法について、できる限り具体的な事例に即して講述する。

授業の達成目標：

1. 共生社会の実現に向けた基盤をなすという特別支援教育の大きな目標を理解する。
2. 特別の支援を必要とする生徒の特性及び心身の発達を理解し、そのための教育課程や支援の方法を理解する。
3. 特別の教育的ニーズのある生徒への対応を理解する。

6 教育原理 FZ-Z-302

必修 2単位 2年前期・集中



授業の概要：教育の理念とその歴史的な成り立ちについて講ずる。人間にとっての教育の不可欠性、人間形成全体における学校教育の位置、学校教育の歴史的成り立ち、日本の学校教育の歴史的な特質やその今日的課題について講ずる。

授業の達成目標：

1. 人間がなぜ教育を必要としているのか、人間形成全体における教育の位置、教育の目的や目標に関する考え方等の教育の基本的概念や思想を理解する。
2. 学校教育の成り立ちと国家や社会との関係等の教育の歴史を理解する。

7 生徒・進路指導論 FZ-Z-303

必修 2単位 2年前期



授業の概要：学校における生徒指導及び進路指導の意義や課題を正しく、切実なものとしてとらえるためには、現実的な視点が大切である。授業では多くの具体的な課題を取り上げ、グループワークを行い、グループごとにプレゼンテーションをする機会を設ける。また、小レポートを課し、考えることや実感する場面を設定する。小レポートの内容を共有することによって、意識の深化を図る。また、青年期にある自らの内面を過去から現在にわたって振り返りながら学ぶ。

授業の達成目標：

1. 生徒指導及び進路指導の意義や原理を理解する。
2. 生徒指導及び進路指導を進めていくために必要な知識・技能や素養を身につける。
3. 個別課題を抱える生徒への生徒指導及び進路指導のあり方を理解する。

9 教育相談 FZ-Z-402

必修 2単位 2年後期・集中



授業の概要：教育相談に必要な態度・姿勢・技法を習得するため、カウンセリングに関する理論、基礎知識、具体的な対応方法を、不適応の事例を紹介しながら概観していく。スクールカウンセラー等の専門家の職務の実際や、関係者との連携のあり方など、学校現場の実際場面を想定した内容を提示していく。

授業の達成目標：

1. 学校教育における教育相談の概要について理解する。
2. 児童生徒の問題行動や不適応行動の概要とそれらの行動に気づくための視点を習得する。
3. 教育相談の具体的な進め方を学び、校内外の関係者との連携のあり方を理解する。

11 教育実習 FZ-Z-701

必修 2単位 4年前期・集中



授業の概要：実習校の教員による講話を受講し、学校の課題と生徒の実態、学校運営の在り方などについて理解する。授業参観と教材研究を通して、授業の在り方を学び、実践のための指導案を作成し、授業の準備をする。授業実践を行い、学習指導の実際について学ぶ。授業後の反省を担当教員の指導助言のもとに行い、授業力の向上に生かす。

授業の達成目標：

1. 教育実習生としての基本的な態度や教職員等との適切な関わり方ができること。
2. 指導案を作成し、生徒への教科・科目・単元のねらいを踏まえた適切な学習指導ができること。
3. 生徒の発達段階に応じた適切な生徒指導ができること。
4. 授業観察や教材研究、授業実施後の反省を適切に行うことができること。

8 特別活動及び総合的な探究の時間の指導法 FZ-Z-401

必修 2単位 2年後期



授業の概要：特別活動の意義と目標・内容及び課題について解説するとともに、学生が自己の経験を振り返りながら考察する機会を確保する。また、総合的な探究の時間の意義や指導計画の作成、具体的な指導の仕方、評価等について解説する。いずれもグループワーク等の集団活動の場を設定し、実践的に学ぶことができるようにする。また、総合的な探究の時間の学習課題として取り上げられる内容の多くは、SDGsと関連のあるものが多いことから、SDGsの概要についても確認する。

授業の達成目標：

1. 特別活動の意義を理解し、その特質を踏まえた指導の在り方を理解する。
2. 総合的な探究の時間の意義と原理を理解する。
3. 総合的な探究の時間の指導計画の作成、指導及び評価の仕方を理解する。

10 教育方法学 FZ-Z-403

必修 2単位 2年後期・集中



授業の概要：教育方法の原理と理論、指導技術について考察する。そして、様々な授業や教育実践の例に触れ、これからの子どもに求められる資質・能力を育成するための教育方法を理解し、適切な指導技術を身に付けられるように体験的な活動を行う。なお、これらの教育方法や指導技術などには、情報通信技術の効果的な活用と情報活用能力（情報モラルを含む。）の育成を含んでいる。

授業の達成目標：

1. 教育の目的に適した指導技術、及び、これからの社会を担う子供たちに求められる資質・能力を育成するために必要な教育の方法を理解し、身に付ける。
2. 学校における情報通信技術の活用の意義と理論、及び、情報通信技術を効果的に活用した学習指導や校務の推進の在り方について理解する。
3. 生徒に情報活用能力（情報モラルを含む。）を育成するための基礎的な指導法を身に付ける。

12 教育実習事前・事後指導 FZ-Z-702

必修 1単位 4年前期・集中



授業の概要：3年前期から4年前・後期にかけて実施する。3年次後期には教育実習の意義と目的の理解と授業実践に向けた指導案の作成と模擬授業を行う。また、学校現場での一日体験実習では、授業観察や授業実践、現職教員の講話を通して、教育実習に向けた意識と技術の向上を目指す。4年次には、教育実習直前の指導と直後の振り返りのための指導を行う。

授業の達成目標：事前指導では、教育実習に臨む上で必要となる事柄の理解（教育実習の目的と内容等）、実習生にふさわしい心構えと態度の育成、学習指導と生活指導に関する指導技術の基礎的能力の向上を目指す。事後指導では、教育実習での経験を振り返り、成果と課題を確認する。

13 教職実践演習（高） FZ-Z-801

必修 2単位 4年後期・集中



授業の概要：教科及び教職に関する科目の履修状況を踏まえ、教員として必要な知識技能を修得したことを確認する。「教職のための学習ポートフォリオ」に基づいた学修の振り返りによって、4つの事項（①使命感等②社会性等 ③生徒理解等 ④教科指導力等に関する事項）に関して、個別の課題を明確にし、その克服を目指す。その方法として、講義の他にグループ討論や模擬授業、学校現場の見学・調査などを行う。実施に当たっては、高校や教育委員会との連携を密にするとともに、専門教科担当者を含めた指導体制の下で指導し、評価を行う。

授業の達成目標：学生が身に付けた資質能力が、教員として最小限必要な資質能力として有機的に統合され、教育現場において必要とされる実践的能力となっていることを確認し定着させる。以下の諸点にとくに留意する。

1. 自らの専門的課題を自覚した上で、教科に関する知識と技能を充実させる。
2. 教職に関する知識と指導技術を向上させる。
3. 社会性や人間性を豊かにし、使命感と教育愛・教育的情熱をもって教育に取り組もうとする態度を身に着ける。

15 工業科教育法B EACSZ-Z-601

必修 2単位 3年後期



授業の概要：高等学校における職業教育は多様であり、工業分野も産業構造の変化に伴い多様化している。講義では、工業分野に従事する工業人を育成するに相応しい教員の育成を目指し、授業法や評価について講義する。更には学習指導案の作成と模擬授業を通して教員としての実践的態度を育成するとともに、工業教育の動向についてふれ、課題を確認するとともに、工業教育の未来を展望する講義内容とする。

授業の達成目標：

1. 工業教育に係る教育方法の知識や指導法を理解する。
2. 実際の教育の場において知識や指導法を適切に適用できるようにする。
3. 学習指導案作成と付随する知識・指導技術が修得できるようにする。

16 商業科教育法A MCZ-Z-501

必修 2単位 3年前期



授業の概要：高等学校学習指導要領に基づく商業教育のねらいと指導内容について学習し、産業経済の社会的背景と商業教育との歴史的なつながりを学ぶ。また、商業教育の役割、指導内容、指導方法、教育課程等を講義の核とし、実践的態度の育成を目指す講義内容とする。

授業の達成目標：

1. 学習指導要領「商業」の目標や内容を理解する。
2. 商業教育にかかわる教育理念・教育方法の知識や指導法を理解する。
3. 実際の教育の場において適用できるように、授業への実践的態度の育成をはかる。

14 工業科教育法A EACSZ-Z-501

必修 2単位 3年前期



授業の概要：高等学校における職業教育は多様であり、工業分野も産業構造の変化に伴い多様化している。工業分野に従事する技術者を育成する指導者としての使命感を自覚させ、学習指導要領に基づき、工業教育の役割・概要、教育機器及び情報通信技術の活用等を授業の中心にして、実践的態度の育成を目指す講義内容とする。

授業の達成目標：

1. 工業教育に係る教育方法の知識や指導法を理解する。
2. 実際の教育の場において知識や指導法を適切に適用できるようにする。
3. 学習指導案作成と付随する知識・指導技術が修得できるようにする。

16 情報科教育法A ETZ-Z-502

必修 2単位 3年前期



授業の概要：教科「情報」の教育目標、内容、指導方法について理解し、情報科教員として必要な教材作成、授業設計・実施・評価の理論と実践を、自ら課題解決しながら行う。

授業の達成目標：

1. 高等学校学習指導要領「情報」の目標と内容を理解する。
2. 共通教科情報科の「社会と情報」の知識や指導法を理解する。
3. 具体的な授業場面を想定した授業設計を行う方法を身につける。

17 情報科教育法B ETZ-Z-602

必修 2単位 3年後期



授業の概要：共通教科情報科における「情報の科学」と専門教科情報科の教育目標、内容、指導方法について理解し、情報科教員として必要な教材作成、授業設計・実施・評価の理論と実践を、自ら課題解決しながら行う。

授業の達成目標：

1. 共通教科情報科の「情報の科学」の知識や指導法を理解する。
2. 専門教科情報科の科目編成や各科目の目標と取り扱いを理解する。
3. 具体的な授業場面を想定した授業設計を行う方法を身につける。

17 商業科教育法B MCZ-Z-601

必修 2単位 3年後期



授業の概要：商業教育の教材研究・授業設計、評価、商業教育の現状等について学ぶ。また、学習指導案の作成、模擬授業の実施（情報機器の活用も含む）を通して、商業科教員に必要とされる知識・技術の習得を目指した講義内容とする。

授業の達成目標：

1. 商業教育にかかわる教育理念・教育方法の知識や指導法を理解する。
2. 実際の教育の場において適応できるよう、授業への実践的態度の育成をはかる。
3. 具体的な授業場面を想定した授業設計を行う方法を身につける。

教職課程の履修要項

教育職員免許状を取得するためには、教育職員免許法および教育職員免許法施行規則に基づき、東北工業大学学則第42条、並びに教育職員免許状取得に関する履修規程によって設置された教職課程について、所定の単位を修得する必要があります。

教職を希望する学生は、以下に示す教職課程の履修要項を熟読の上、間違いのないよう十分に注意することが必要です。

I. 本学において取得できる普通免許状の種類および免許教科は次のとおりです。

免許状の種類	免許教科の種類	学 科
高等学校教諭一種免許状	工 業	電 気 電 子 工 学 科 情 報 通 信 工 学 科 都 市 マ ネ ジ メ ン ト 学 科 環 境 応 用 化 学 科 建 築 学 科 産 業 デ ザ イ ン 学 科 生 活 デ ザ イ ン 学 科
	情 報	電 気 電 子 工 学 科 情 報 通 信 工 学 科
	商 業	経営コミュニケーション学科

II. 上記の免許状を取得するには、東北工業大学教育職員免許状の取得に関する履修規程に定める授業科目を履修し、所定の単位を修得する必要があります。

III. 「教育実習」について

教育実習は、教職に携わることを望む学生が、大学の授業を通しては容易に得ることのできない教職の専門性に関する能力、とりわけ教科授業に関する指導法を、直接教育の現場において、生徒に対する具体的な指導を通して体験的・総合的に理解し、集中的に身につけ、教員になるための能力や適性を考えるとともに課題を自覚することを目的として実施される科目です。教育実習は4年次に課せられており、これまでの教職課程の学修を生かして行うものです。

① 教育実習は、次の要件を充足し、履修適格者と認定された者だけが対象となります。

(i) 3年次終了時までにより下記の科目をすべて修得する必要があります。

・教育の基礎的理解に関する科目等及びその他の関連科目

区分	教育の基礎的理解に関する科目
	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談に関する科目

・教科及び教科の指導法に関する科目

区分	各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）
----	------------------------

(ii) 次の成績要件を充足する必要があります。

3年次前期終了時の全履修科目の累積GPA値※がおおむね2.50以上であること。（ただし、この値は見直される場合があります。）

※GPAについて…

『GPA (Grade Point Average)』とは、成績を5段階で評価した値の平均値であり、以下の式により計算します。なお、詳細については、本学生便覧の16ページを参照してください。

【成績5段階評価の区分】

成績	Grade	Grade Point
90～100点	A	4.00
80～89点	B	3.00
70～79点	C	2.00
60～69点	D	1.00
不可・不適	F	0.00

【GPAの計算式】

$$GPA = \frac{(4 \times A \text{の修得単位数}) + (3 \times B \text{の修得単位数}) + (2 \times C \text{の修得単位数}) + (1 \times D \text{の修得単位数})}{\text{履修登録科目の単位数 (Fの科目も含む)}}$$

- ② 上記の履修条件を満たすことのできる見込みで、教育実習の履修を希望する場合、3年次の6月までに、教育実習予備登録（実習希望校調査）の手続きをしてください。
- ③ 教育実習の実習内諾を得るまでの交渉は本人が行ないます。
実習内諾を得るための高校訪問等は、高校に連絡のうえ、できるだけ3年次の早い時期に行なってください。
- ④ 教育実習は、都道府県教育委員会、当該高等学校の協力を得て行なわれます。当初の予定を変更した場合、これら関係機関に多大の迷惑をかけることになりますので、実習申込み後の自己の都合や履修状況による実習辞退は極力回避するよう努めてください。万が一、予定を変更せざるをえない場合には、総合教育センター（教職担当）に直ちに相談してください。

IV. 教育職員免許状の申請手続きと授与

教育実習を修了し、取得しようとする免許種の必要単位を充足し、免許状の出願をすることによって、卒業時に免許状が授与されます。

教育職員免許状の申請手続きについては、別途、学生サポートオフィス（教務学生課）より案内をします。

V. 教職に関する相談について

教職に関する事務的事項については学生サポートオフィス（教務学生課）および総合教育センター（教職担当）が行い、学生に対する諸連絡はポータルサイト等において指示しますので常に注意してください。

教育職員免許状の取得、教育実習、その他教職に関する相談については、教職科目担当教員が、随時対応しています。

《教職課程年間スケジュール》

実施時期	説 明 会 お よ び 手 続 き	対象学年
4月上旬	オリエンテーション (教職課程の説明…所属学科・総合教育センター (教職担当))	1 学年
	履修登録	全学年
4月中旬	教育実習ガイダンス, 事前指導	4 学年
4月中旬 ～5月	次年度実習希望者は, 実習希望校を訪問し, 内諾を得る	3 学年
5月上旬 ～10月下旬	教育実習 (2 週間または3 週間)	4 学年
5月上旬 ～6月上旬	次年度教育実習履修希望者および教育実習希望高校調査	3 学年
6月中旬 ～7月下旬	次年度教育実習希望者に対し, 実習希望校への本学からの依頼状交付	3 学年
9月下旬～ 10月上旬	履修登録	全学年
11月～	教職課程のための学習ポートフォリオの作成	1 ～ 4 学年
12月上旬	教育職員免許状申請書類を学生サポートオフィス (教務学生課) に提出	4 学年
3 月初旬	免許状申請書類を大学がとりまとめ, 一括して, 宮城県教育委員会に提出	4 学年
3 月中旬	教育職員免許状交付	4 学年
3 月下旬	教育実習履修者決定	3 学年

* 諸行事への欠席, あるいは提出書類が遅れる場合は, 必ず事前に学生サポートオフィス (教務学生課) あるいは総合教育センター (教職担当) に申し出て指示を受けてください。